

ゆったり 義母と近
くの銭湯 女子た
ちもハダカでキャ
ピ°キャピ°

変わっていく古い街並みの中で、

まだ古きよきを残した赤い看板の小さな煙突。湯気が上がっている。

昔の名残がしっかりと残っている。

それは銭湯・・・・・。

老若男女がすっぽんぽん、つまりは一糸
まとわぬ姿でいろいろなことを脱ぎ捨
てて楽しむ場所である。

例えば仕事のギスギスなど・・・

首にちゃんとタオルをかけて、湯につかればみんな開放。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ○

そんな昔ながらの銭湯があるということ
とを、リビングでソファに座りテレビを
見る俺と義理ママは最近知った。

真っ白の下着姿のムッチムチ太もも義
母にとってみればとっても気になる場

所である。

「最近改装されたらしいけど・・・ま
あ気になるよね」

ソファで花瓶に植えられた草を見ながら、

足を組み変え、義母はため息をつく。

そのあとテレビに目をやる。

義母はソファで組んでいた足を少し崩した。

そして俺を見た。

「昔はあの銭湯もゆったりした憩いの場だったらしいのにね……」

俺の膨れた股間を見てママが微笑む。

銭湯の近くには中華料理店がある。

若い女子男子たちも最近増えたよう
で・・・・・・銭湯で大乱交をした後に、
そこで食事などを楽しんだりする。

そしてセックスへの英気と滋養をやし
なうのだ。

・・・・・・。

「確かにそこ、最近ちょっと気になるんだよね……」

俺は答えた。

……銭湯に通りにかかった際ミニスカートの女子たちが入り口に並んでいるのを先日見た、毎晩愛人の家に行ってセックス三昧のママが続ける。

「銭湯って裸になる場所だからね」

みんなあそこでパイパンで入浴・・・

セックスのベテランのママも・・・

・・・・・・・・最近とある友人の近所のママ
との会話を思い出した・・・・・・・・

「最近は、義母と息子とのさ・・・・・・・・」

ママ友は嬉しそうにそう続けた。

「ご近所さんも息子さんの筆下ろしを
終えられたらしいのよ・・・」

ずっと吸っていたらしい。

細眉エッチな義母は・・・・・パンツを顔を赤らめて穿きかえた。

「母子での激しすぎるセックスも最近は大流行りなんだって」

「いいじゃん！！」

俺は大賛成。

街のコミュニティ道路では、そんなエッチな話題で最近も持ちきりである。

「銭湯行ってみようよ！！！」

地域の女性たち皆が賛成。

道端世間話にて裸の銭湯遠足が決まった。

近所の白い太陽の朝。

皆、楽しみにしている。

ルンルンッ・・・

ハダカでシャワーを浴びる人妻たち。

近くのカフェでもコーヒー会が毎朝開かれていて、毎晩のセックスなどの話に盛り上がっているのだが、

毎朝のランニングを終えた少し長めの
黒髪の爽やかスポーツ派の奥さんが遅
れてそこへ来た。

スマホの画面を見ながら、入口のドアを

開ける。

少し離れた場所に小さな商業ビル。少し汗ばむ夏前。気温は温かい。

これから毎朝の、おっぱいと足ムッチムチ熟女たちが長い夜を終えてホッと一息つく時間がやってくる。

銭湯への話題が出て皆が大賛成したその数日後、

先に奥さんグループがその銭湯へ行ったようだ。

先日、浴槽の大改装が行われたその銭湯。

義母と俺はその後に続く・・・・・・・・。

現代風からあえて昔風へ姿を変えたそのエッチなお風呂。

江戸時代の自由な名残そのままのその
雰囲気があった。

(体験版は以上になります。ご読了あり
がとうございました)